

業務用エコキュート

取扱説明書

ご使用前に



使用方法・
基本操作

使用方法・
メニュー操作

使用方法・
各種設定操作

お手入れに
ついて

故障かな？
と思ったら
点検日お
知らせ

「定期点検」[ロックアップ]
表示が出たときは
アフターサービス
について

仕様

**このたびは三菱重工業務用エコキュートをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。**

この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。正しくお使いいただくため、ご使用になる前に、必ずこの説明書をよくお読みください。

お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに、この説明書を大切に保管してください。

お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。

お客様ご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。

また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

PJZ012A110A 

201607

目次

ご使用の前に	2
安全上のご注意	2
保守点検と予防保全のための 部品交換実施のお願い	6
水質基準	7
CO ₂ ヒートポンプ給湯機の概要	8
給湯機の機能および内容の説明	10
リモコン各部の名前とはたらき	12
画面の流れ	14
使用方法・基本操作	16
貯湯運転方法	16
運転・休止	17
貯湯温度・保温温度	18
スケジュール設定	19
運転パターン設定	20
休日設定	23
ピークカット設定	25
運転パターン設定の確認	28
満蓄運転	29
貯湯量設定	30
貯湯量推移の表示	31
運転モードの表示	31
使用方法・メニュー操作	32
子リモコンの制約事項	32
メニュー画面での操作のしかた	33
各設定画面における注意事項	34
使用方法・各種設定操作	35
初期設定	35
管理者設定	38
リモコン設定確認	48
お手入れについて	49
リモコン、熱源機、貯湯ユニットの お手入れのしかた	49
冬季の凍結防止	50
長期間停止させる場合	50
故障かな？と思ったら	51
点検日のお知らせ	54
「定期点検」「バックアップ表示」が 出たときは	55
アフターサービスについて	55
仕様	56



お願い

熱源機を保護するため運転開始の6時間前に電源ブレーカを入（ON）にしてください。（クランクケースヒータに通電され、圧縮機を温めます。）また、電源スイッチは切らないでください。（圧縮機の停止中にクランクケースヒータに通電し、圧縮機を温めて、液冷媒寝込みによる圧縮機故障を防止します。）






ご使用前に

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
	必ずアース工事をしてください。		絶対にぬれた手でふれないでください。
	絶対に水にぬらさないでください。		

- お使いになる方は、この取扱説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。
- 電気配線工事は「第二種電気工事士」の資格のある方が行ってください。

据え付け上の注意事項

⚠警告

据え付けは、販売店または専門業者に依頼する。

別売品は必ず当社指定の製品を使用する。

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、落下によるケガの原因になります。



小部屋へ据え付ける場合は、万一冷媒がもれても限界濃度を超えない対策が必要です。

限界濃度を超えない対策については、販売店に相談して据付けする。

万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠自己の原因になります。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定する。

接続や固定に不備があると、発熱・発煙・火災などの原因になります。



リモコンへの接続電圧は最大でDC18Vです。AC100V・AC200Vは接続しないこと。

破壊・発火・火災の原因になります。



熱源機やリモコンのパネルや蓋を外したままの運転は行わない

充電部を露出させた状態での運転は、感電や火災の原因になります。



特殊環境では、使用しない。

次の場所で使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電・故障・発煙・火災の原因になります。

- ・油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- ・油煙が発生する作業場
- ・粉が浮遊する作業場
- ・タバコの煙が多いところ
- ・水蒸気の発生、湿気の多いところ
- ・化粧品・特殊スプレーを使用するところ
- ・可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがあるところ



アース（接地）を確実に行う。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。



漏電ブレーカを取り付ける。

漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。



直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けない。

変形・変色・故障の原因になることがあります。



⚠️注意

ドレン配管は確実に排水するよう配管する。

不確実な場合、水が屋内へ浸水し、家財が濡れることや、ドレン配管の閉塞により給湯機の故障の原因になることがあります。



質量に耐えられるところに据付ける。

強度不足や取付けに不備があると、給湯機の故障やリモコンが落下することがあります。



■使用上の注意事項

⚠️警告

可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。

ベンジン・シンナーで本体をふかない。

ひび割れ・感電・発火の原因になります。



異常時、または不具合が発生した場合は運転を停止する。

異常のまま運転を続けると故障・感電・火災等の原因になります。

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。



水以外の流体を使用しない。

火災や爆発の原因となります。



給湯温度を確かめる。温水配管には直接触れない。

火傷の原因となります。



保護装置の設定変更や解除をしない。

変更した場合、火災、感電、ケガなどの原因になります。



燃焼器具と一緒に使用するときにはこまめに換気する。

換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になることがあります。



空気の吹出口に指や棒などを入れない。

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。
送風機が停止していても急に運転することがあります。



⚠注意

本体やリモコンで遊ばない（遊ばせない）。

誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。



リモコンは絶対に分解しない。

内部を手でふれると感電や故障の原因になることがあります。
内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。



リモコンや給湯機を水・液体などで洗わない。

感電・火災・故障の原因になることがあります。



濡れた手で電気部品に触れたり、ボタンや画面を操作しない。

感電・火災・故障の原因になることがあります。



お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する。

感電やけがの原因になることがあります。



給湯機内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談する。

誤った洗浄剤の選定、使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。



長期使用で痛んだままの据付台などを使用しない。

傷んだ状態で放置すると給湯機の落下につながりケガの原因になることがあります。



給湯機の上に乗ったり、物を載せたりしない。

落下・転倒の原因になることがあります。



給湯機の下や近くに、濡れて困るものは置かない。

運転状態によっては、本体や冷媒配管および水配管の結露や、ドレン水が詰まった場合に、水が滴下し損害が生じる恐れがあります。



給湯機の上に花瓶などの水の入った容器を載せない。

感電・発火・故障の原因になることがあります。



給湯機の周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。

落ち葉などがあると、虫などが侵入して、内部の電気部品に触れると故障や発火・発煙の原因になることがあります。



給湯機のアルミフィンに触らない。

ケガの原因になることがあります。



リモコンコードをひっぱったり、ねじったりしないでください。

故障の原因になることがあります。



リモコンのボタンや画面を先のとがったもので押さないでください。

破損し、故障の原因になることがあります。



食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。

保存物の品質低下の原因となることがあります。



正しい容量のヒューズ以外は使用しない。

針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。



電源スイッチによる給湯機の運転や停止をしない。

火災や水漏れの原因になることがあります。また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。



水は飲用に使用しない

健康を害する原因になることがあります。



長期間停止する場合は、水配管に水を入れたまま放置しない

水質の悪化や、凍結による給湯機の故障の原因になることがあります。
給湯機の電源を切って、排水してください。



電源を切らない

水が凍結し、給湯機の故障の原因になることがあります。
電源を切る場合は、給湯機の排水をしてください。



規定されている水質基準に適合した水を使用する。(P7の基準値を参照)

水質の悪化は、故障や水漏れなどの原因になることがあります。
固形物や変色した水・濁り・異臭があった場合は点検を依頼してください。



■ 移設・修理時の注意事項

⚠ 警告

移設・分解・修理は、お買い上げの販売店に相談する。

改修は絶対にしない。

不備があると、けが・感電・火災などの原因になります。



洪水、台風など天災で給湯機が水没した時は、お買い上げの販売店に相談する。

運転をすると、故障や感電、火災などの原因になります。



指定された冷媒（二酸化炭素）以外を使用しない。

圧力は最大14MPaの高圧になります。

指定された冷媒以外を使用すると火災や爆発の原因になります。



給湯機の修理・点検作業時は、必ず運転を停止し、電源ブレーカを必ず落とす。

電源ブレーカがONの場合、感電およびファン回転による受傷の原因になります。



修理を行うときはサービスマン以外近づかない。

思わぬ危険を伴うことがあります。



ご使用の前に

保守点検と予防保全のための部品交換実施のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の安全性と機能を維持するため、当社指定のサービスマンによる定期点検と部品交換を実施いただくようお願い致します。

この表は、一般的*な使用条件における定期点検の内容とその周期、および部品交換の目安を示しています。

特に部品交換時期に関しては、お客様のご使用になる水質や空気質、給湯運転時間の設定、等によって決定する必要があります。

具体的な保守点検に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、当社では遠隔監視装置を用いた便利な保守契約プランをご用意させていただいておりますので、ご契約いただくことをお勧めします。

* 1日の稼動時間を深夜電力利用の10時間とした場合

部品	点検内容	点検周期 (回/年)	交換目安	
冷媒回路 部品	圧縮機	高圧、中間圧、低圧、振動、音、 絶縁抵抗、端子緩み	1	4万時間
	空気側熱交換器 (エバポレータ)	高圧、中間圧、低圧、フィン汚れ	1	10年
	ガスクーラ (水熱交換器)	高圧、中間圧、低圧、水圧損失、 吐出管温度	1※	10年※
	電磁弁	動作、漏れ、詰り	1	10年
	電子膨張弁	動作	1	10年
	ストレーナ	ストレーナ出入口温度差	1	重サービス時
	キャピラリーチューブ	接触磨耗、振動	1	10年
電気回路 部品	配管	接触磨耗、振動	1	10年
	リレー	動作、接点部接触抵抗、 絶縁抵抗	1	10年
	電磁弁・電子膨張弁コイル	絶縁抵抗	1	10年
	クランクケースヒータ	絶縁抵抗	1	2万時間
	凍結防止ヒータ (中間ドレンパン・水回路配管)	絶縁抵抗	1	2万時間
	ヒューズ	外観	1	5年
	基板 (制御、インバータ、水ポンプ用)	外観	1	10年
	高圧開閉器、各圧力センサ	接点部接触抵抗、 キャピラリー部擦れ	1	10年
	端子台	端子台緩み	1	10年
	配線、コネクタ	はずれ、緩み、劣化、擦れ	1	10年
	電解コンデンサ	液漏れ、変形なきこと	1	2.5万時間
	冷却ファン	絶縁抵抗、騒音	1	10年
	電磁開閉器(52C)	接点部接触抵抗、動作	1	2.5万時間
	送風機	ブロベラファン	バランス、割れ	1
ファンモータ		絶縁抵抗、騒音、振動	1	2万時間
水回路 部品	DC水ポンプ	動作、振動、騒音、絶縁抵抗、 水漏れ	1※	5年※
	流量調整弁	動作、振動、騒音、絶縁抵抗、 水漏れ	1※	5年※
	電動弁	動作、振動、騒音、絶縁抵抗、 水漏れ	1※	5年※
	減圧弁	動作、騒音、水圧、水漏れ	1※	5年※
	逆止弁	動作、騒音、水圧、水漏れ	1※	5年※
ストレーナ	詰り、水漏れ	1※	清掃:2回/年※	

※印部分の点検周期と部品の交換周期は、ご使用になる上水道の水質によって大きく影響を受けます。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。

水質基準

補給水、および循環水は下表の水質基準内の水を使用してください。

水質基準を外れるとスケールの付着、腐食などの不具合を生じる恐れがあります。

ご使用前に

項目			循環水 (60℃を超え90℃以下)	補給水
基準項目	pH (25℃)	—	7.0~8.0	7.0~8.0
	電気伝導率 (25℃)	mS/m	30以下	30以下
	塩化物イオン	mgCL-/L	30以下	30以下
	硫酸イオン	mgSO ₄ ²⁻ /L	30以下	30以下
	酸消費量 (pH4.8)	mgCaCO ₃ /L	50以下	50以下
	硫酸イオン/酸消費量	—	0.5以下	0.5以下
	全硬度	mgCaCO ₃ /L	70以下	70以下
	カルシウム硬度	mgCaCO ₃ /L	50以下	50以下
	イオン状シリカ	mgSiO ₂ /L	20以下	20以下
参考項目	鉄	mgFe/L	1.0以下	0.3以下
	銅	mgCu/L	1.0以下	1.0以下
	硫化物イオン	mgS ²⁻ /L	検出されないこと	検出されないこと
	アンモニウムイオン	mgNH ₄ ⁺ /L	0.1以下	0.1以下
	残留塩素	mgCl/L	0.1以下	0.3以下
	遊離炭酸	mgCO ₂ /L	0.4以下	4.0以下
	安定度指数		—	—

ご使用の前に

CO₂ヒートポンプ給湯機の概要

1 CO₂ヒートポンプ給湯機の構成

ヒートポンプ式の給湯システムである本業務用エコキュートは、自然冷媒を使用したヒートポンプでお湯を沸かす熱源機（ヒートポンプユニット）と、沸かしたお湯を貯湯する貯湯ユニットで構成されます。

本業務用エコキュートはタッチパネル式給湯リモコンを採用しており、簡単操作で各種機能を設定することができます。

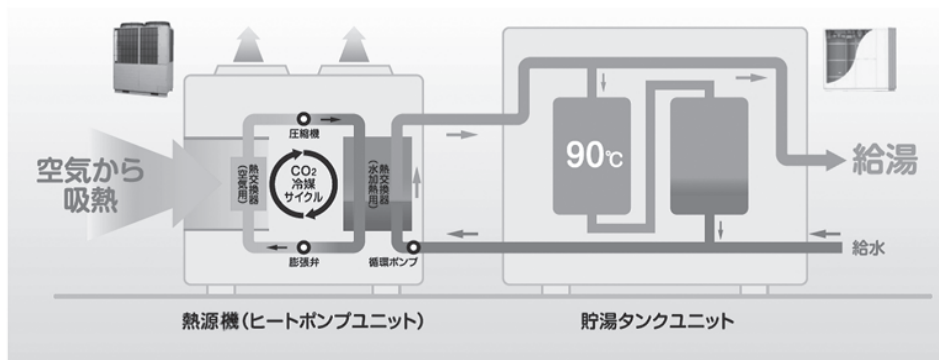
また、給湯リモコン1台に対して、ヒートポンプユニットを16台まで同時に操作することが可能です。

2 CO₂ヒートポンプ給湯機の仕組み

業務用エコキュートは、冷媒を循環させることにより大気中の熱を汲み上げて水を加熱するため、熱としてお湯に与えられる熱量は「給湯機の消費電力+大気からの吸熱分」となります。よって、このときのエネルギー消費効率は1以上になり非常に効率の良い運転が可能です。

CO₂冷媒のメリット

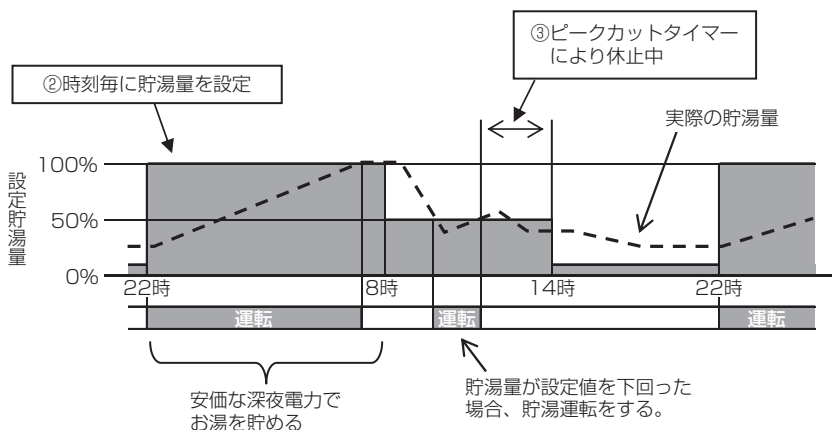
- ・ 温暖化係数が「1」であり、環境にやさしい。
- ・ 高温水を効率よく取り出すことができるため、貯湯温度による蓄熱量の調整や、洗浄用途への使用が可能です。



3 CO₂ヒートポンプ給湯機の運転パターン

本給湯機は各時刻における設定貯湯量を目標に貯湯運転します。

下図により、給湯機の代表的な運転パターン、および、設定項目を紹介します。



貯湯運転の設定（設定方法はP16を参照ください）

①貯湯温度

リモコンで設定した貯湯温度で貯湯ユニットにお湯を貯めます。

貯湯温度を増減させることにより、貯湯ユニットの蓄熱量を増減させることができます。

1台のリモコンに熱源機が複数台接続している場合も、個別に温度を設定することができます。

②時刻毎の貯湯量

リモコンで時刻毎の貯湯量を設定することができます。

お湯の使用状況に合うよう貯湯量を設定してください。

③ピークカットタイマー

時間を指定し、熱源機の運転を禁止、またはセーブすることができます。

電力需要に合わせて熱源機をピークカットすることにより、契約電力を抑えることができます。

④貯湯量設定

時刻毎の貯湯量を曜日単位で一律増減させることができます。

給湯負荷が季節や曜日によって変わる場合に使用してください。

例1 夏場：“少なめ” 冬場：“多め”

例2 月曜日～木曜日：“少なめ” 金、土曜日：“多め” 日曜日：“通常”

⑤休止設定

休日でお湯を貯める必要がない場合に、貯湯運転を禁止することができます。

ご使用の前に

給湯機の機能および内容の説明

本リモコンでは次の設定をすることができます。
設定方法の詳細についてはそれぞれの説明を確認ください。

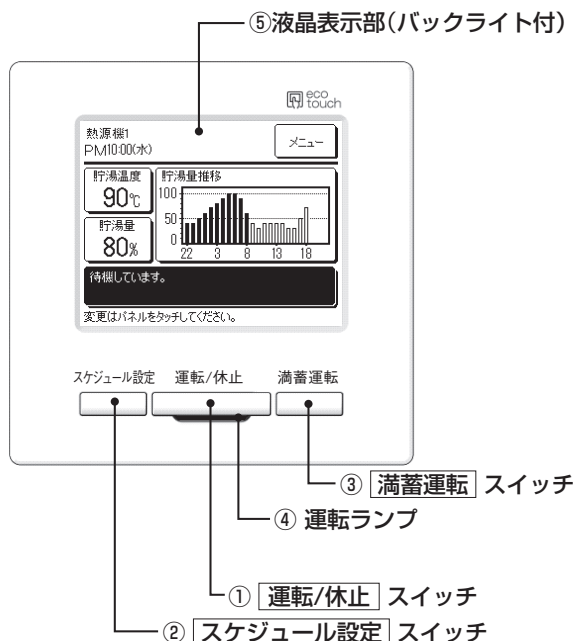
設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
運転		給湯機を運転させることができます。 給湯機は設定された運転パターンにより貯湯運転を行います。	17ページ
休止		給湯機を休止させることができます。 運転パターンは無効になり、給湯機は貯湯運転を行いません。 ※給湯機の保護運転（湯切れ防止運転、凍結保護運転）をすることがあります。	17ページ
スケジュール設定	一週間の運転パターン設定	1週間の運転パターンを設定します。 ■1日最大8パターンまで設定可能です。	20ページ
	休日設定 ①毎週 ②特定期間 ③特定日	祭日や休業日など、貯湯運転が不要な場合に休日設定をすることができます。 ①休日にする曜日を設定します。 ②開始日と終了日を設定し、開始日から終了日まで休日にします。 ③特定日を選択し、休日にします。	23ページ
	ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力セーブ値を設定します。 ■1日最大4パターンまで設定可能です。 ■能力セーブ値は0～80% (20%) 単位から選択可能です。 ※時刻設定が必要です。	25ページ
	運転パターン設定確認	現在の運転パターンを確認できます。	28ページ
満蓄運転		貯湯ユニットが満タンになるまで貯湯運転をします。	29ページ
貯湯運転設定	貯湯温度設定	貯湯温度を設定することができます。	18ページ
	保温温度設定	保温温度を設定することができます。 ※開放タンクのみ設定可能です。	
貯湯量設定		貯湯量を一律増減させることができます。	30ページ
貯湯量推移表示		選択した給湯機の貯湯量の推移を表示します。 ■前日および当日の貯湯量を表示します。 (最大48時間分)	31ページ
運転モード表示	リモコン表示内容		31ページ
	・停止しています	給湯機が停止している状態です。 給湯機は運転しません。	
	・運転/休止スイッチにより休止しています	運転/休止スイッチ、または休日設定により、給湯機が停止しています。 貯湯運転はしませんが、保護運転をすることがあります。	
	・休日設定により休止しています		
	・待機しています	目標貯湯量より現在の貯湯量が多く、運転を待機しています。	
	・貯湯運転中です	給湯機が貯湯運転をしています。	
	・保温運転中です	給湯機が保温運転をしています。	
	・満蓄運転中です	給湯機が満蓄運転をしています。	
	・湯切れ防止運転中です	タンクのお湯がなくなることを防止するために、給湯機が貯湯運転をしています。	
	・凍結防止運転中です	水回路の凍結を防ぐために、給湯機が貯湯運転をしています。	
・除霜運転中です	給湯機熱交換器の霜取り運転をしています。		
・ピークカット中です	ピークカット率が設定されています。		
・運転準備中です	貯湯運転をする準備をしています。		

設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ■80時間以内の停電の場合、内蔵のバックアップ電源の動きにより時計は動き続けます。80時間を超える停電の場合、再設定が必要です。	35ページ
	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	36ページ
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	36ページ
	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	37ページ
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	37ページ
管理者設定	操作制限設定	各操作の許可/禁止を設定します。	38ページ
管理者パスワード	リモコン表示 熱源機選択	リモコンに表示する給湯機を選択します。 ※選択しない場合は、リモコンが自動で給湯機を選択します。	39ページ
	リモコン表示設定	<ul style="list-style-type: none"> リモコン名称、給湯機名称を登録します。 除霜運転中、貯湯未了表示のあり/なしを設定します。 貯湯グラフ設定にて、貯湯グラフのデザインを変更します。(通常/すべて白塗り/すべて黒塗り) 	40ページ
	貯湯温度刻み切り替え	貯湯温度設定の刻み(5℃/1℃)を設定します。 ※初期設定は「5℃」です。	44ページ
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	44ページ
	業種設定	代表的な業種の運転パターンを選択することにより、詳細な運転パターンを簡単に設定することができます。	45ページ
	運転ランプ点灯設定	[通常] 熱源機の運転開始にて点灯します。 [設定1] 運転/休止スイッチを押すと点灯します。	46ページ
	貯湯温度上限設定	貯湯温度の上限値を設定します。(70~90℃)	46ページ
	開放タンク情報	開放タンク温度センサーの検知温度を確認できます。	47ページ
	リモコン設定確認	現在のリモコン、熱源機の設定一覧を確認することができます。	48ページ
故障かな?と思ったら	点検情報	サービス連絡先を表示させます。 ■携帯電話点検コード検索サービスサイトのURLとQRコードを表示します。	51ページ
	Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	52ページ

ご使用の前に

リモコン各部の名前とはたらき（操作部）

ご使用の前に



①運転/休止、②スケジュール設定、③満蓄運転 スイッチ以外の操作は、液晶表示部を指で押すタッチパネル方式となっています。

① 運転/休止 スイッチ

1度押すと運転し、もう1度押すと休止します。(※17ページ)

② スケジュール設定 スイッチ

押すとスケジュールを設定します。(※19ページ)

③ 満蓄運転 スイッチ

押すと満蓄運転をします。(※29ページ)

④ 運転ランプ

熱源機運転中、緑色（黄緑色）に点灯します。
異常発生時は赤色（橙色）に点灯します。

運転/休止 スイッチを押すと点灯させることも可能です。(※46ページ)

⑤ 液晶表示部（バックライト付）

液晶表示部にふれると、バックライトが点灯します。

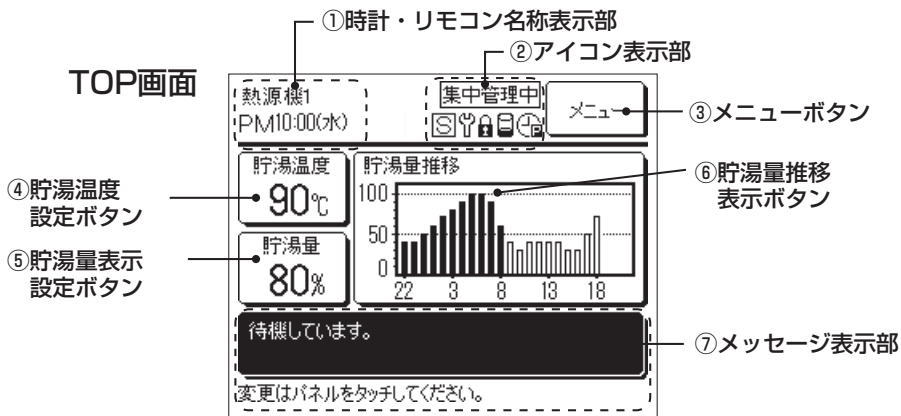
一定時間操作が行われないと自動的に消灯します。

バックライトの点灯時間は設定可能です。(※37ページ)

バックライト有効設定時、バックライトが消灯している状態で画面をタッチするとバックライトのみ点灯します。(①、②、③のスイッチ操作は除く)

リモコン各部の名前とはたらき（表示部）

※説明のため全てのアイコンを表示しています。



①時計・リモコン名称表示部

現在の時刻（[P.35](#)ページ）、およびリモコン名称（[P.40](#)ページ）を表示します。

②アイコン表示部

各アイコンは以下の設定が行われている場合に表示します。

集中管理中

集中管理機器（別売）で管理されているときに表示します。



子リモコン設定すると表示します。（[P.32](#)ページ）



定期点検の時期になると表示します。（[P.51](#)ページ）



操作制限設定が設定されているときに表示します。（[P.38](#)ページ）



ピークカットタイマーが設定されているときに表示します。（[P.25](#)ページ）



設定した貯湯量まで貯湯できていない場合に表示します。（[P.42](#)ページ）

③メニューボタン

以下の④～⑦以外の設定を行う場合は、メニューボタンをタッチし、表示されたメニュー項目の中から各々の設定をしてください。

④貯湯温度設定ボタン（[P.18](#)ページ）

現在設定されている貯湯温度を表示します。貯湯温度、保温温度を変更する場合はこのボタンをタッチしてください。

⑤貯湯量表示・設定ボタン（[P.30](#)ページ）

現在の貯湯量を表示します。貯湯量を[多め]・[少なめ]に設定する場合はこのボタンをタッチしてください。

⑥貯湯量推移表示（[P.31](#)ページ）

本日の貯湯量の推移を表示します。表示日・表示する給湯機を変更する場合はこのボタンをタッチしてください。

⑦メッセージ表示部（[P.10](#)ページ）

給湯機の運転状態やリモコン操作のメッセージなどを表示します。

ご使用の前に

画面の流れ

ご使用の前に

TOP画面

運転/休止スイッチ	17ページ参照
スケジュール設定スイッチ	19ページ参照
一週間の運転パターン設定	20ページ参照
休日設定	23ページ参照
ピークカット設定	25ページ参照
運転パターン設定確認	28ページ参照
満蓄運転スイッチ	29ページ参照
貯湯温度設定	18ページ参照
貯湯量設定	30ページ参照
貯湯量推移表示	31ページ参照
運転モード表示	10ページ参照

メインメニュー

初期設定	35ページ参照
時刻設定	35ページ参照
時刻表示設定	36ページ参照
コントラスト	36ページ参照
バックライト	37ページ参照
ブザー音	37ページ参照
管理者設定	38ページ参照
操作制限設定	38ページ参照
リモコン表示熱源機	39ページ参照
リモコン表示設定	40ページ参照
貯湯温度刻み切換	44ページ参照
管理者パスワード設定	44ページ参照
業種設定	45ページ参照
運転ランプ点灯設定	46ページ参照
貯湯温度上限設定	46ページ参照
開放タンク情報	47ページ参照
リモコン設定確認	48ページ参照
故障かな?と思ったら	51ページ参照

メインメニュー		
据付設定	据付日登録	設定方法は据付工事説明書を参照ください。
	サービス情報登録	
	試運転	
リモコン設定	リモコン親子設定	設定方法は据付工事説明書を参照ください。
	外部入力設定	
	停電補償	
サービス・メンテナンス	熱源機No.表示	設定方法は据付工事説明書を参照ください。
	次回点検日	
	点検表示	
	熱源機情報保存	
	特殊操作	
	システム全停止	

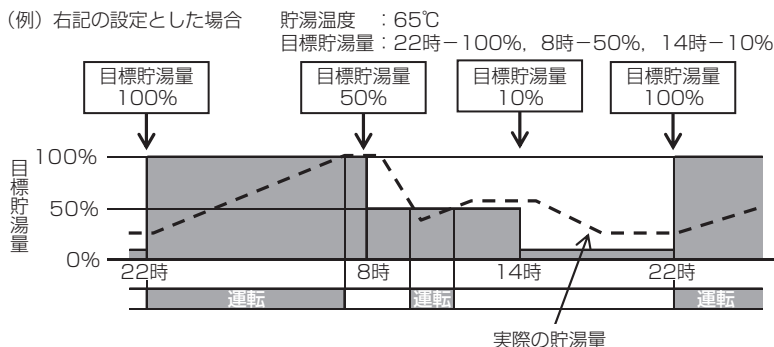
使用方法・基本操作

貯湯運転方法

熱源機は、リモコンから設定した[貯湯温度]、[各時刻による目標貯湯量]、[貯湯量設定]により、貯湯運転をします。

【貯湯運転方法の説明】

各時刻における貯湯量の目標値より現在の貯湯量が少ない場合、熱源機は貯湯運転します。貯湯運転時の湯温は貯湯温度設定の設定値となります。



1 貯湯温度

TOP画面上の **貯湯温度** ボタンをタッチしてください。貯湯温度設定メニューより、貯湯温度を設定してください。(※18ページ)

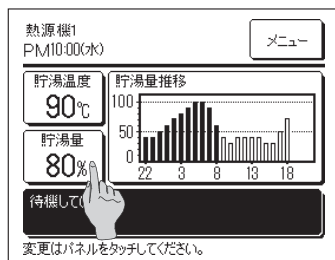
■貯湯タンクが開放式の場合、[保温温度]も設定してください。(※18ページ)

2 各時刻による目標貯湯量

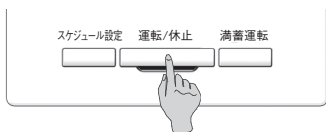
スケジュール設定 スイッチを押してください。運転パターン設定より目標貯湯量を設定してください。(※19ページ)

3 貯湯量設定

設定した各時刻による貯湯量を増減させることができます。変更する場合は、TOP画面上の **貯湯量** ボタンをタッチして、貯湯量設定画面で貯湯量を設定してください。(※30ページ)



運転・休止のしかた

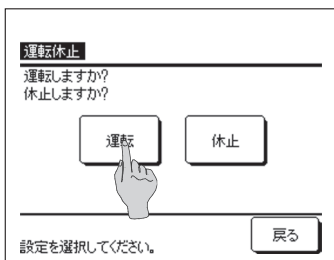


1 運転

休止中に「運転/休止」スイッチを押すと、確認画面が表示されます。

「運転」をタッチし、運転を開始します。

■現在の貯湯量が目標貯湯量未満の場合、熱源機は貯湯運転します。



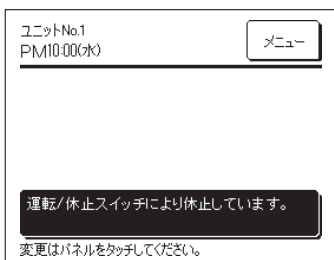
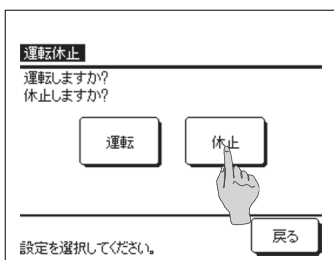
2 休止

運転中に「運転/休止」スイッチを押すと、確認画面が表示されます。

「休止」をタッチし、運転を休止します。

■休止の場合、熱源機は貯湯運転をしません。

■給湯機を保護するために運転することがあります。



休止すると、画面上の各操作ボタンが消灯し、設定したバックライト点灯時間（※37ページ）経過後、バックライトが消灯します。

画面をタッチすると、バックライトが点灯し、各操作ボタンを表示します。

お知らせ

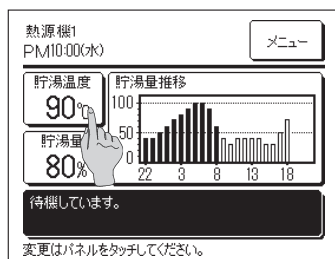
- ・ ボタンを押したときに「操作無効です」と表示する場合がありますが、故障では有りません。ボタン操作が無効に設定されています。（※38ページ）
- ・ 電源を入れてはじめての運転のときは、下記の内容で運転を始めます。お客様の給湯負荷に応じて設定を変更してください。

貯湯温度	…	65℃
目標貯湯量	22時～ 8時	… 100%
	8時～22時	… 30%

■使用方法・基本操作

貯湯温度・保温温度の設定

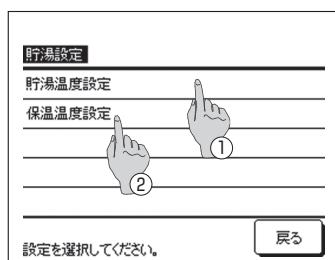
貯湯ユニットに貯める湯温、および、貯湯ユニットの湯温が低下した場合の保温温度を設定できます。



1 TOP画面上の「貯湯温度」ボタンをタッチしてください。

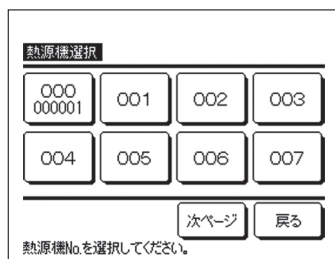
2 貯湯温度設定のメニュー画面が表示されますので、ご希望の項目をタッチしてください。

- ①貯湯温度設定
- ②保温温度設定



3 リモコンに接続されている熱源機が複数台の場合、熱源機の一覧が表示されますので、設定する熱源機をタッチしてください。

熱源機選択画面には、8台まで表示します。9台以上接続されている場合は、「次ページ」ボタンをタッチすると、9台目以降の熱源機が表示されます。



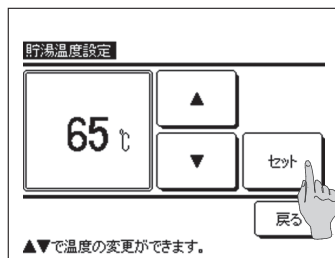
4 ▲▼ボタンで貯湯温度を合わせた後、「セット」ボタンをタッチしてください。

5 「セット」ボタンを操作後、TOP画面に戻ります。

- 貯湯温度は5°C単位、保温温度は1°C単位で設定できます。
貯湯温度 …60~90°C (初期設定 65°C)
保温温度 …40~63°C (初期設定 60°C)

■「セット」ボタンを押さずに「戻る」ボタンを押すと、合わせた設定温度は無効となり、TOP画面に戻ります。

■操作制限設定 (※38ページ) の設定により、管理者パスワード入力画面を表示する場合があります。



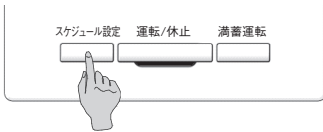
お知らせ

- ・接続されているタンクが「密閉式」の場合、保温温度を設定できません。
- ・貯湯温度と保温温度の差は5°C以上としてください。
- ・実際の出湯温度は運転条件により設定温度に対し±3°C程度前後します。

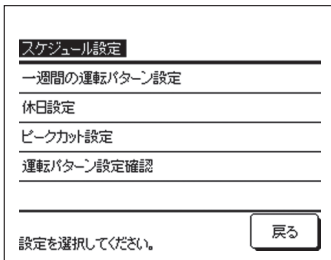
スケジュール設定

給湯機のスケジュール運転に関する設定をすることができます。

各時刻の目標貯湯量の設定、休日設定、ピークカット設定が可能です。



1 **スケジュール設定**スイッチを押します。



2 スケジュール設定選択画面が表示されます。
各メニューの概要は下記の通りです。

- ①一週間の運転パターン設定 (P20 へ)
- ②休日設定 (P23 へ)
- ③ピークカット設定 (P25 へ)
- ④運転パターン設定確認 (P28 へ)

3 一週間の運転パターン設定 (詳細はP20)

各時刻の貯湯量の目標値を曜日ごとに設定することができます。

業種設定 (P45) により、運転パターンを簡単に設定することも可能です。

4 休日設定 (詳細はP23)

休日設定にすることにより、熱源機の貯湯運転を無効にすることができます。

①一週間単位、②特定期間、③特定日の休日設定をすることができます。

5 ピークカット設定 (詳細はP25)

熱源機の最大能力を制限することにより、消費電力を削減することができます。

一週間の設定をすることができます。

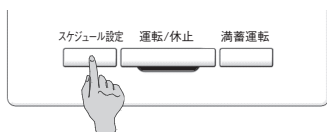
6 運転パターン設定確認 (詳細はP28)

現在の運転パターン設定を確認することができます。

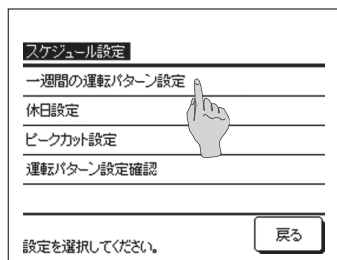
■使用方法・基本操作

■運転パターン設定のしかた

各時刻による目標貯湯量を曜日ごとに設定できます。

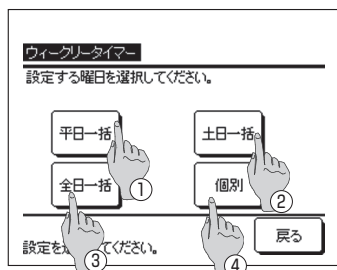


1 **スケジュール設定**スイッチを押します。



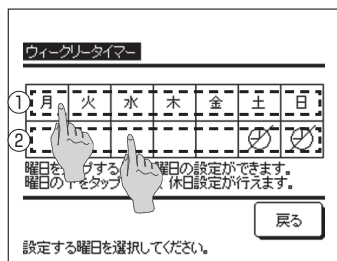
2 スケジュール設定選択画面が表示されますので、「一週間の運転パターン設定」をタッチしてください。

3 設定範囲の選択画面が表示されますので、設定する曜日をタッチしてください。



- ①平日一括：月曜日～金曜日
 - ②土日一括：土曜日、日曜日
 - ③全日一括：月曜日～日曜日
 - ④個別：曜日選択画面に移動します
- (※6へ)
- (※4へ)

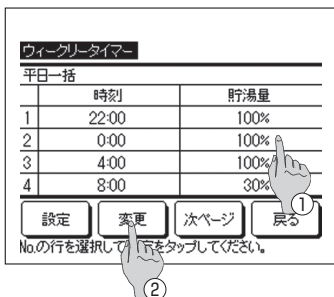
4 ①表示部の設定したい曜日をタッチすると、タッチした曜日の現在の設定内容を表示します。(※6へ)



5 休日設定は、曜日下の②表示部をタッチして、休日設定：「☒」⇔解除「 」を切り替えます。

休日設定された曜日は、貯湯運転しません。

休日設定は、複数選択可能です。



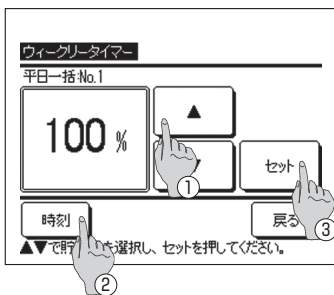
6 設定内容確認画面を表示します。

設定内容を変更する場合は、①各設定No.行を選択し、

② **変更** ボタンをタッチしてください。

■選択した設定曜日 (※3) により最初に表示する設定内容が異なります。

- ①平日一括：月曜日の運転パターン設定
- ②土日一括：土曜日の運転パターン設定
- ③全日一括：月曜日の運転パターン設定
- ④個別：選択した曜日の運転パターン設定

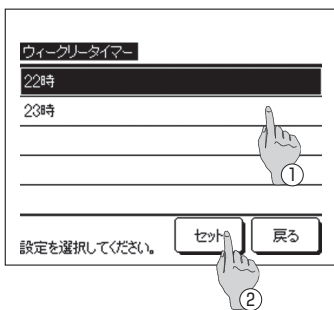


7 貯湯量設定画面を表示します。

① ▲ ▼ ボタンで、貯湯量を合わせてください。
(10%単位)

② **時刻** ボタンをタッチすることにより、時刻を変更することができます。(※8へ)

③ **セッ** をタッチすると貯湯量を設定し、設定内容確認画面に戻ります。(※9へ)



8 時刻選択画面を表示します。

①設定する時刻を選択してください。

② **セッ** をタッチすると時刻を設定し、設定内容確認画面に戻ります。(※9へ)

■全曜日の時刻を一括で変更する場合は、全日一括 (※3へ) を選択して時刻を変更してください。

■時刻の設定範囲

時刻は下表の範囲で変更することができます。

	初期設定	設定範囲
1	22時	22時、23時
2	0時	0時～3時
3	4時	4時～7時
4	8時	8時、9時
5	10時	10時～12時
6	13時	13時～15時
7	16時	16時～18時
8	19時	19時～21時

■使用方法・基本操作

9 設定内容確認画面を表示します。

設定を登録する場合は、**設定** ボタンをタッチしてください。

①一括設定の場合

一括設定確認画面に移ります。(☞10へ)

②個別設定の場合

設定を登録し、曜日選択画面に移ります。(☞4へ)

Wi-Fiフリータイマー		
平日一括		
	時刻	貯湯量
1	22:00	100%
2	0:00	100%
3	4:00	100%
4	8:00	30%

設定 変更 次ページ 戻る

No.の行列について設定をタップしてください。

10 一括設定確認画面を表示します。

はい をタッチし、設定を登録してください。
登録後、曜日選択画面に移ります。

11 曜日を変更して設定を行う場合は、4から設定を行ってください。

Wi-Fiフリータイマー

一括登録しますか?

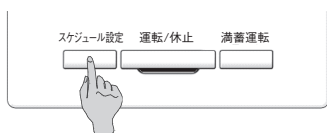
はい

戻る

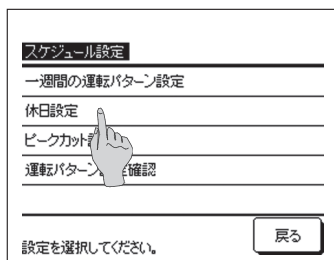
休日設定のしかた

①一週間単位、②特定期間、③特定日の休日設定をすることができます。

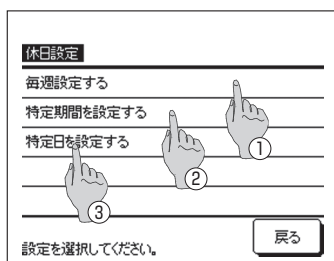
休日設定した場合、貯湯運転を停止します。



1 **スケジュール設定** スイッチを押します。

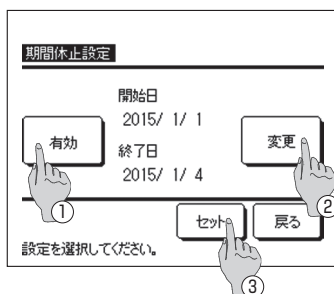


2 スケジュール設定選択画面が表示されますので、「休日設定」をタッチしてください。



3 休日設定選択画面が表示されますので、ご希望の期間をタッチしてください。

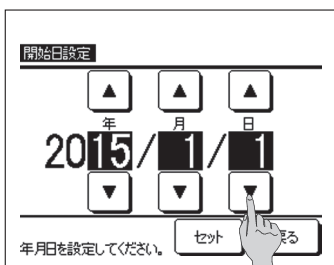
- ① 毎週設定する。(P20の5へ)
- ② 特定期間を設定する。(P4へ)
- ③ 特定日を設定する。(P8へ)



4 期間休止設定の詳細画面が表示されます。

- ① **有効** / **無効** ボタンをタッチして、「有効」⇔「無効」を切り換えます。
- ② 設定内容を変更する場合は、**変更** ボタンをタッチしてください。(P5へ)
- ③ **セット** をタッチすると、設定内容を登録し、TOP画面に戻ります。

■使用方法・基本操作

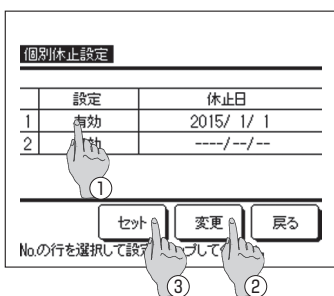


- 5 開始日を設定します。
年月日を ▲ ▼ ボタンで設定してください。
設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。



- 6 終了日を設定します。
年月日を ▲ ▼ ボタンで設定してください。
設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。

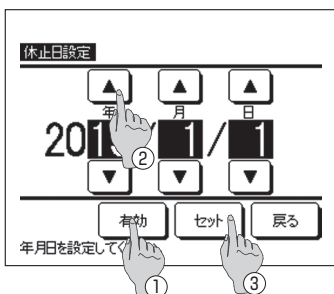
- 7 設定内容の確認画面 (※4 へ) を表示します。



- 8 特定日の休止設定の詳細画面が表示されます。

設定内容を変更する場合は、①各設定No.行を選択し、
②**変更** ボタンをタッチしてください。(※10 へ)

- 9 ③**セット** ボタンをタッチすると、設定内容を登録し、TOP画面に戻ります。



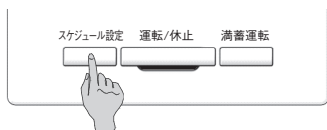
- 10 休止日を設定します。

- ① **有効** / **無効** ボタンをタッチして、「有効」⇔「無効」を切り換えます。
②年月日を ▲ ▼ ボタンで設定してください。

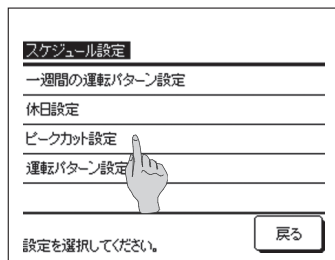
- 11 ③**セット** ボタンをタッチすると、詳細画面 (※8 へ) を表示します。

ピークカット設定のしかた

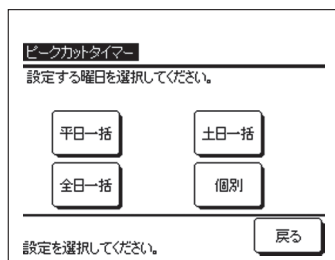
一週間単位でピークカットタイマーを設定することができます。



1 **スケジュール設定**スイッチを押します。



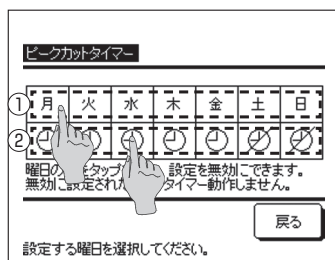
2 スケジュール設定選択画面が表示されますので、「ピークカット設定」をタッチしてください。



3 設定範囲の選択画面が表示されますので、設定する曜日をタッチしてください。

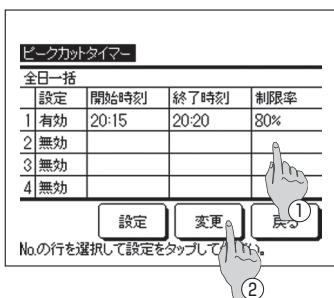
- ①平日一括：月曜日～金曜日
 - ②土日一括：土曜日、日曜日
 - ③全日一括：月曜日～日曜日
 - ④個別：曜日選択画面に移動します (☞ 4 へ)
- } (☞ 6 へ)

4 ①表示部の設定したい曜日をタッチすると、タッチした曜日の現在の設定内容を表示します。(☞ 6 へ)



5 有効/無効の設定は、曜日下の②表示部をタッチして、有効：「○」⇔無効「○」を切り替えます。無効設定された曜日は、ピークカットしません。無効設定は、複数選択可能です。

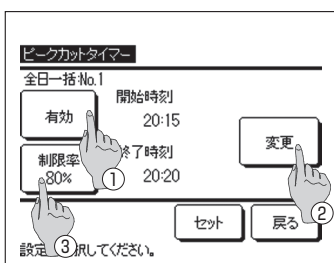
■使用方法・基本操作



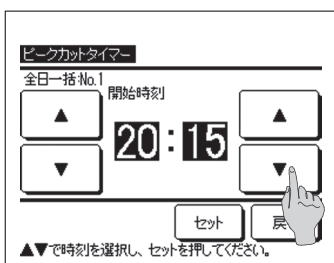
- 6 現在の設定内容確認画面を表示します。
設定内容を変更する場合は、あるいは設定追加する場合は、①各設定No.行を選択し、②「変更」ボタンをタッチしてください。

■選択した設定曜日（※3）により表示する設定内容が異なります。

- ①平日一括：月曜日のピークカット設定
- ②土日一括：土曜日のピークカット設定
- ③全日一括：月曜日のピークカット設定
- ④個別：選択した曜日のピークカット設定

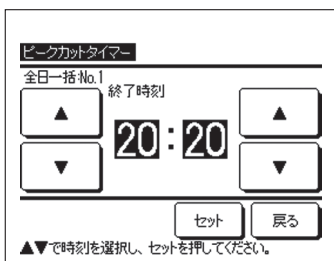


- 7 タイマー設定内容の詳細設定画面を表示します。
- ①「有効」/「無効」ボタンをタッチして、「有効」⇔「無効」を切り換えます。
 - ②「変更」ボタンをタッチすると、開始時刻、終了時刻の設定を行います。（※8へ）
 - ③「制限率」ボタンをタッチすると、能力制限率の設定を行います。（※10へ）



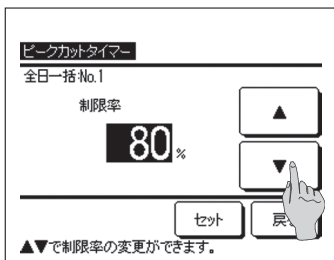
- 8 開始時刻を設定します。
▲ ▼ ボタンで、時間/分を設定してください。
開始時刻は、5分単位で設定可能です。

設定後、「セット」ボタンをタッチしてください。
（※9へ）



- 9 終了時刻を設定します。
▲ ▼ ボタンで、時間/分を設定してください。
終了時刻は、開始時刻の5分後以降～24：00までの5分単位で設定可能です。

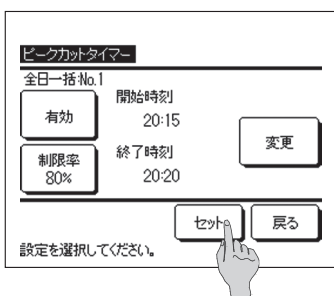
設定後、「セット」ボタンをタッチしてください。
（※11へ）



10 制限率を設定します。

▲ ▼ ボタンで、制限率を設定してください。
制限率は0%、40%、60%、80%の設定が可能です。

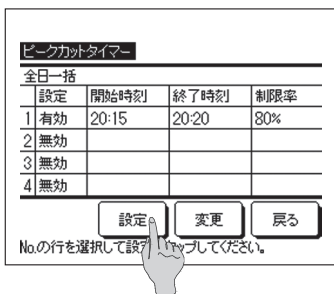
設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。
([図11](#)へ)



11 設定内容の確認画面 ([図7](#)へ) を表示します。

セット ボタンをタッチすると、内容を確定し、曜日設定内容確認画面 ([図6](#)へ) を表示します。

12 引き続き、同一曜日内で設定を修正あるいは追加する場合は、6からの作業を行ってください。



13 曜日設定内容確認画面 ([図6](#)へ) を表示します。

設定を登録する場合は、**設定** ボタンをタッチしてください。

①一括設定の場合

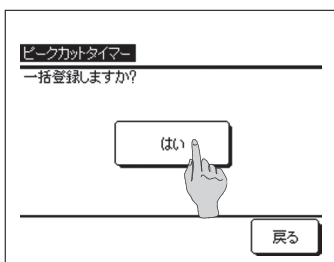
一括設定確認画面に移ります。([図14](#)へ)

②個別設定の場合

設定を登録し、曜日選択画面に移ります。([図4](#)へ)

14 一括設定確認画面を表示します。

はい をタッチし、設定を登録してください。
登録後、曜日選択画面に移ります。

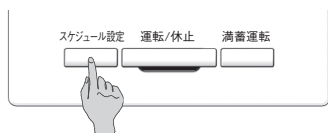


15 曜日を変更して設定を行う場合は、4から設定を行ってください。

■使用方法・基本操作

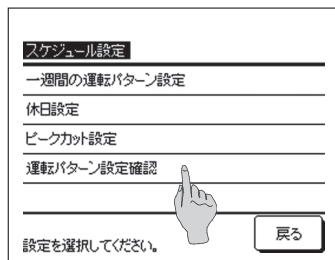
■運転パターン設定の確認方法

現在の運転パターン設定を確認することができます。

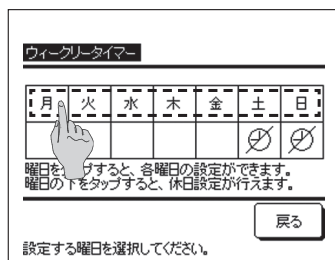


1 **スケジュール設定** スイッチを押します。

2 スケジュール設定選択画面が表示されますので、「運転パターン設定確認」をタッチしてください。



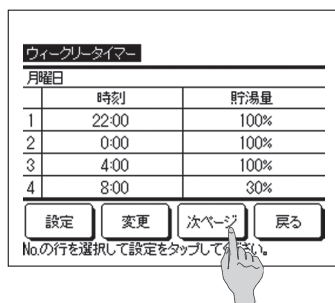
3 表示部の確認したい曜日をタッチすると、タッチした曜日の現在の設定内容を表示します。



4 設定内容確認画面を表示します。

次ページ ボタンをタッチすると、次の設定内容を表示します。

設定を変更する場合は、運転パターン設定のしかた (P21の6へ) を確認してください。



満蓄運転のしかた

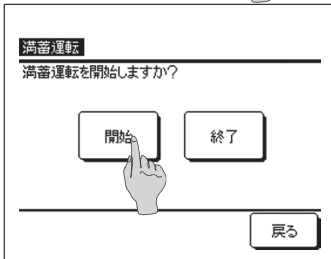
貯湯ユニットの湯量が満タンになるまで、全ての熱源機は貯湯運転をします。



1 運転

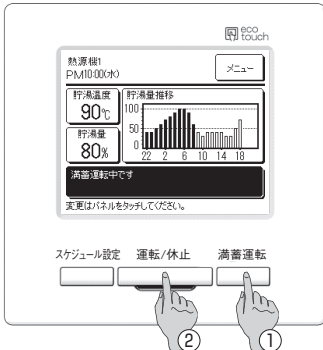
運転中に「満蓄運転」スイッチを押すと、満蓄運転の確認画面が表示されます。

- 運転/休止スイッチにより休止している場合は満蓄運転ができません。運転/休止スイッチより運転した後、満蓄運転を開始してください。



2 開始

「開始」をタッチすると、満蓄運転を開始し、TOP画面が表示されます。

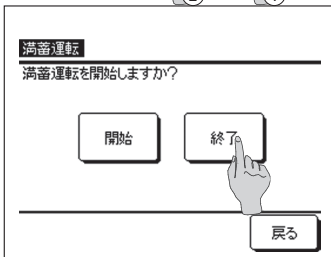


3 終了

熱源機は満蓄運転が終了するまで貯湯運転を続けます。また、下記の操作により満蓄運転を中止することができます。

- ①「満蓄運転」スイッチを押して、満蓄運転確認画面で「終了」をタッチする。(※4へ)
- ②「運転/停止」スイッチを押して、運転を休止する。

- 満蓄運転中に休日設定により休止になった場合は満蓄運転を続けます。



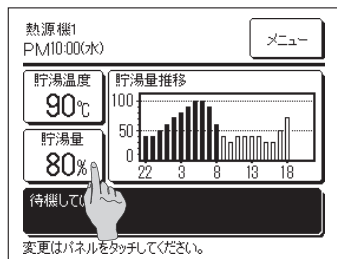
4 終了

「終了」をタッチすると、満蓄運転を終了し、TOP画面に戻ります。

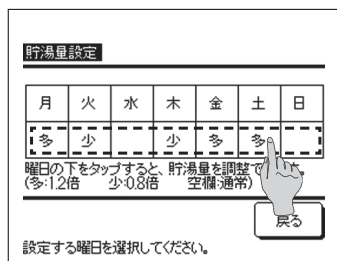
■使用方法・基本操作

貯湯量設定のしかた

季節や曜日により使用湯量が変わるときなど、運転パターン設定で設定した貯湯量を、一律増減させることができます。



1 TOP画面上の「貯湯量」ボタンをタッチしてください。



2 現在の貯湯量設定が表示されます。

3 設定を変更する場合は、曜日下の「多」「少」部をタッチして、貯湯量設定を切り換えてください。

空欄 (1倍) ⇒ 多 (1.2倍) ⇒ 少 (0.8倍)

切り換え後、「戻る」ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

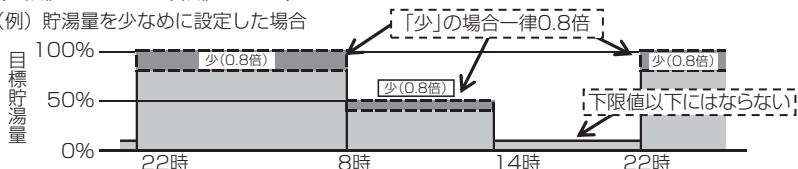
4 「多」「少」に設定した場合、TOP画面のメッセージ表示部に設定が表示されます。

■ 「通常」の場合、貯湯量設定は表示されません。

お知らせ

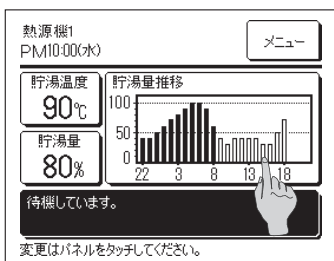
- ・ 「通常」を選択した場合、運転パターン設定で設定した貯湯量を目標値とします。出荷時の設定は全曜日「通常」です。
- ・ 貯湯量設定で「多」、「少」を選択した場合、目標貯湯量を一律「1.2倍」「0.8倍」します。
- ・ 増減後の目標貯湯量が貯湯量の上下限を超える場合は、それぞれ貯湯量を上限、下限に読み替えます。(上限値：100%、下限値：10%)

(例) 貯湯量を少なめに設定した場合



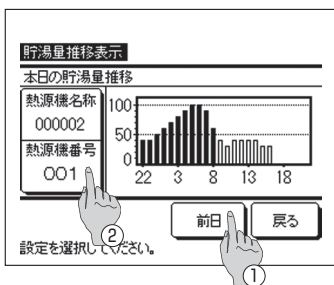
貯湯量推移の表示方法

リモコンのTOP画面に本日の貯湯量の推移を表示します。また、接続している各熱源機について前日から現在までの貯湯量推移を確認することができます。



1 TOP画面の貯湯量推移表示部に、1時間毎の貯湯量推移を表示します。

2 前日の貯湯量推移を表示する場合、または表示する熱源機を変更する場合は、貯湯量推移表示部をタッチしてください。



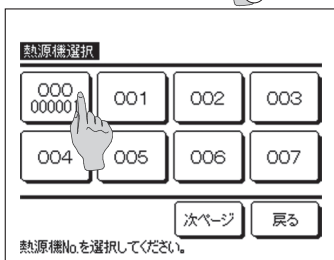
3 貯湯量推移選択画面を表示します。

① **前日** ボタンをタッチして、前日の貯湯量を表示させます。(P4へ)

② **熱源機番号** をタッチして、表示する熱源機を選択します。(P5へ)

4 前日の貯湯量推移画面を表示します。

① **本日** ボタンをタッチして、本日の貯湯量を表示させます。



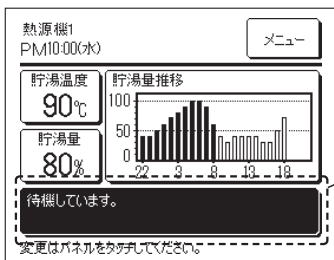
5 熱源機の選択画面を表示します。

表示させる熱源機をタッチすると、選択した熱源機の貯湯量推移が表示されます。

運転モードの表示

TOP画面のメッセージ表示部に熱源機の運転モードを表示します。

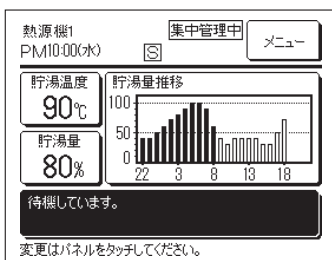
運転モードの詳細はP10を参照ください。




メッセージ表示部

使用方法・メニュー操作

子リモコンの制約事項

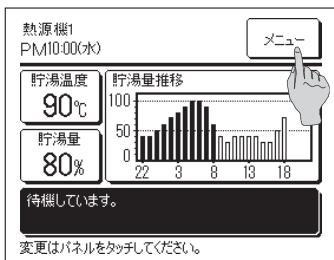


1つの熱源機を2つのリモコンで制御する場合、子リモコンでは以下の設定ができません。親リモコンにて設定してください。

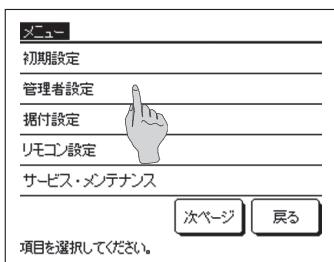
子リモコンの場合、リモコン画面上にのアイコンが表示されます。

- 貯湯温度設定
- 貯湯量設定
- スケジュール設定
- 管理者設定
- 試運転メニュー
- リモコン設定

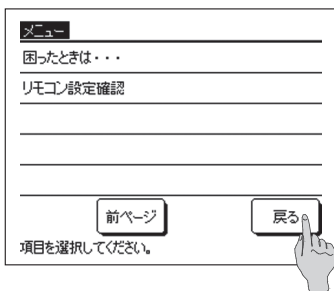
メニュー画面での操作のしかた



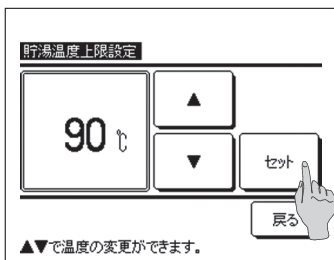
1 TOP画面上の **メニュー** ボタンをタッチしてください。



2 メインメニュー画面を表示します。
ご希望のメニュー項目をタッチすると、各項目の設定画面を表示します。
メニュー画面は、複数ページとなり、先頭ページには **次ページ** ボタンを、最終ページには **前ページ** ボタンを表示します。



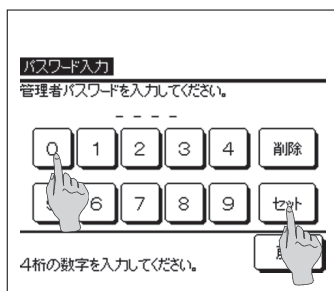
3 **戻る** ボタンをタッチすると、TOP画面に戻ります。



4 各項目の設定画面において、**セット** ボタンがある画面は、**セット** ボタンをタッチすることで、設定内容が確定します。

■使用方法・メニュー操作

メニュー画面での操作のしかた



5 取扱説明書内に「管理者パスワード」とある項目においては、メニュー選択後、管理者パスワード入力画面を表示します。

管理者パスワード（数字4桁）入力後、「セット」ボタンをタッチしてください。

パスワードがわからない場合、異なった場合は、設定変更ができません。

お知らせ

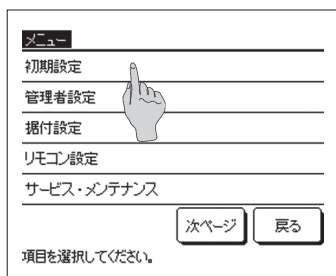
- ・工場出荷時に設定されている管理者パスワードは、据付工事説明書を参照ください。
また管理者パスワードを忘れた場合も、据付工事説明書を参照し、管理者パスワードの初期化を行ってください。

各設定画面における注意事項

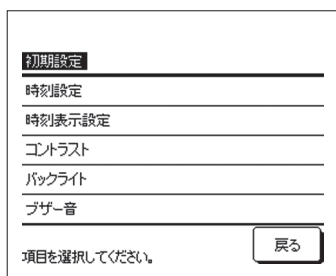
- ・各設定画面において、各々の画面に戻る場合は、以下のボタン/スイッチを操作してください。
 - 前の画面に戻る……「戻る」ボタン
 - TOP画面に戻る……「運転/休止」スイッチ
- ・設定の途中で、「セット」ボタンを押さずに、「戻る」ボタンをタッチすると、設定内容は無効となり、1つ前の画面に戻ります。また、設定の途中で、「運転/休止」スイッチを押すと、設定内容は無効となり、本モードを終了し、TOP画面に戻ります。
- ・各項目の設定途中で約5分間ボタン操作がない場合、自動でTOP画面に戻ります。このとき設定途中の内容は無効となります。
- ・ボタンを押したときに「操作無効です。」と表示する場合がありますが、故障ではありません。操作制限設定によりボタン操作が無効に設定されています。

使用方法・各種設定作業

初期設定のしかた



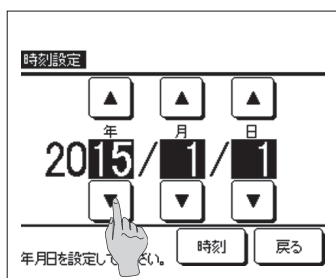
1 メインメニュー画面で「初期設定」をタッチします。



2 初期設定のメニュー画面が表示されますので、ご希望の項目をタッチしてください。

- ①時刻設定 … 35ページへ
- ②時刻表示設定 … 36ページへ
- ③コントラスト … 36ページへ
- ④バックライト … 37ページへ
- ⑤ブザー音 … 37ページへ

時刻設定のしかた



1 初期設定メニュー画面において、「時刻設定」をタッチすると、時刻設定画面を表示します。

「年/月/日」を ボタンで設定してください。設定後、 ボタンをタッチしてください。

■時刻および日付で設定されている運転パターンにより熱源機は貯湯運転をするため、時刻が正しく設定されない場合、貯湯運転を正しく開始できません。



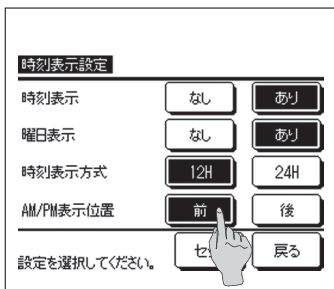
2 時刻設定画面において、「時：分」を ボタンで設定してください。

設定後、 ボタンをタッチしてください。

「年/月/日」を変更する場合は、 ボタンをタッチしてください。

■使用方法・各種設定操作

■時刻表示設定のしかた



- 1 初期設定メニュー画面において、「時刻表示設定」をタッチすると、時刻設定画面を表示します。

時刻表示のなし/ありを設定します。

曜日表示のなし/ありを設定します。

表示方式を設定します。

12H設定……午後3:50の場合「PM3:50」と表示します。

24H設定……午後3:50の場合「15:50」と表示します。

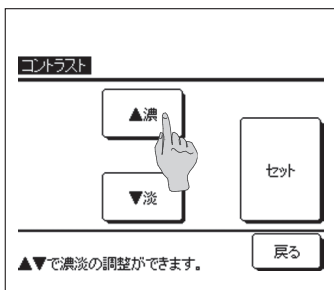
AM/PM表示位置を設定します。

前 設定……「PM3:50」と表示します。

後 設定……「3:50PM」と表示します。

- 2 各項目設定後、「セット」ボタンをタッチしてください。

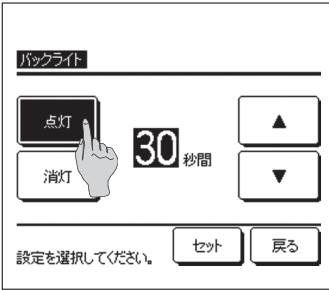
■コントラスト設定のしかた



- 1 初期設定メニュー画面において、「コントラスト」をタッチすると、画面のコントラスト設定画面を表示します。
▲濃 / ▼淡 ボタンをタッチすると、画面上のコントラストが変化しますので、ご希望のコントラストに合わせてください。

- 2 設定後、「セット」ボタンをタッチしてください。

■バックライト設定のしかた



- 1 初期設定メニュー画面において、「バックライト」をタッチすると、バックライト設定画面を表示します。バックライト点灯の 有効/無効 およびバックライト点灯時間（5～90秒：5秒間隔）を設定してください。

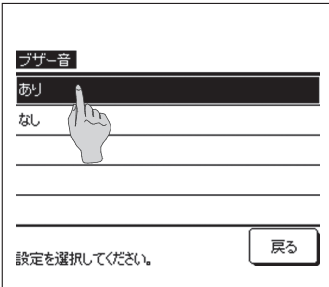
点灯……液晶表示部にふれると、バックライトが点灯します。

設定した時間、操作が行われないと、自動的に消灯します。

消灯……液晶表示部にふれても、バックライトは点灯しません。

- 2 設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。

■ブザー音設定のしかた



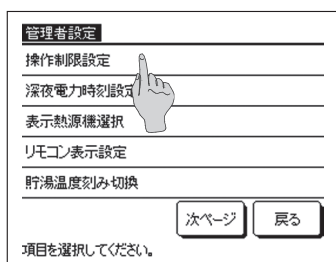
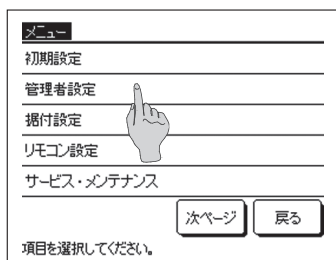
- 1 初期設定メニュー画面において、「ブザー音」をタッチすると、ブザー音の設定画面を表示します。ブザー音のあり/なしを設定してください。

あり……画面上のボタンをタッチすると「ピッ」とブザー音がします。

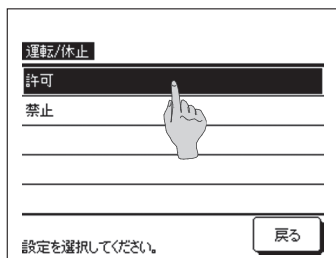
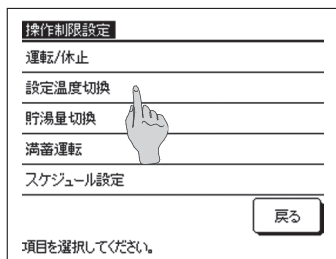
なし……ブザー音がしません。

■使用方法・各種設定操作

管理者設定のしかた



■操作制限設定のしかた



- 1 メインメニュー画面で「管理者設定」をタッチします。
管理者パスワード要求画面が表示されますので、管理者パスワードを入力してください。(P.34ページ)
- 2 管理者設定のメニュー画面が表示されますので、ご希望の項目をタッチしてください。
メニュー画面は、複数ページとなり、先頭ページには「次ページ」ボタンを、最終ページには「前ページ」ボタンを表示します。
 - ①操作制限設定 … 38ページへ
 - ②リモコン表示熱源機 … 39ページへ
 - ③リモコン表示設定 … 40ページへ
 - ④貯湯温度刻み切り替え … 44ページへ
 - ⑤管理者パスワード変更 … 44ページへ
 - ⑥業種設定 … 45ページへ
 - ⑦運転ランプ点灯設定 … 46ページへ
 - ⑧貯湯温度上限設定 … 46ページへ
 - ⑨開放タンク情報 … 47ページへ

- 1 管理者設定のメニュー画面から、「操作制限設定」をタッチすると、操作制限設定メニューを表示します。
このメニューから以下の操作項目を選択し、操作の許可/禁止設定ができます。
許可設定した場合、操作が可能です。
禁止設定した場合、操作を行うと、「操作無効です。」を3秒間表示します。
操作項目によっては、管理者パスワードを要求します。

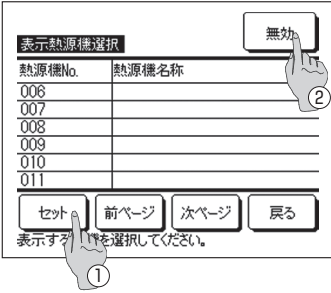
■禁止設定時の動作

- ①運転/休止 … 運転/休止操作を禁止します。
- ②貯湯温度切換 … 変更時に管理者パスワードを要求します。
- ③貯湯量切換 … 変更時に管理者パスワードを要求します。
- ④満蓄運転 … 満蓄運転操作を禁止します。
- ⑤スケジュール設定 … 変更時に管理者パスワードを要求します。

- 2 各々の操作項目において、許可あるいは禁止をタッチしてください。

■リモコン表示熱源機を選択方法

TOP画面に運転状態を表示する給湯機を選択することができます。



1 管理者設定のメニュー画面から、「リモコン表示熱源機」をタッチすると、表示熱源機選択画面を表示します。

表示する熱源機を変更する場合は、表示する熱源機を選択し、①「セット」ボタンを押してください。

表示する熱源機を選択しない場合は、②「有効」ボタンをタッチし、「無効」に切換後、①「セット」ボタンをタッチしてください。

「無効」の場合は、表示する熱源機を自動で選択します。

熱源機選択画面には、7台まで表示します。8台以上接続されている場合は、「次ページ」ボタンをタッチすると、8台目以降の熱源機が表示されます。

■使用方法・各種設定操作

■リモコン表示設定のしかた

リモコンの表示内容ができます。

リモコン表示設定

リモコン名称

熱源機識別名

除霜運転中表示

貯湯運転未了表示

貯湯量グラフ設定

戻る

項目を選択してください。

1 管理者設定のメニュー画面から、「リモコン表示設定」をタッチすると、リモコン表示設定メニューを表示します。

- ①リモコン名称 …リモコン名称を設定します。
([図2](#)へ)
- ②熱源機識別名 …熱源機の名称を設定します。
([図3](#)へ)
- ③除霜運転中表示 …「除霜運転中」表示のあり/なしを設定できます。
([図4](#)へ)
- ④貯湯未了表示 …「貯湯未了表示」のあり/なしを設定できます。
([図5](#)へ)
- ⑤貯湯量グラフ設定…貯湯量グラフのデザインを設定します。
([図6](#)へ)

2 TOP画面に表示させるリモコン名称の設定を行います。リモコン名称は全角9文字分(半角18文字分)相当まで入力できます。

カタカナ、英字、数字、漢字入力ができます。各々のボタンをタッチすると、入力可能な文字を表示します。

入力する文字を画面上から1文字ずつ選択してください。

前 **次** ボタンをタッチすると次候補を表示します。

削除 ボタンをタッチすると選択した文字を1文字ずつ削除します。

入力が完了しましたら、**セット** ボタンをタッチしてください。リモコン名称が設定され、TOP画面にリモコン名称を表示します。

リモコン名称

セット

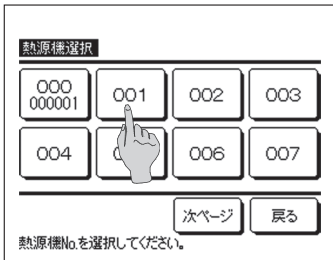
「ABCDEFGHIJKLMNPOQR」

英字 数字 カナ 漢字

S	T	U	V	W	X	Y	Z	à
á	â	ã	ä	å	ç	è	é	ê

削除 前 次 戻る

名称を入力してください。



3 アドレスボタンに併記される熱源機の名称を設定します。

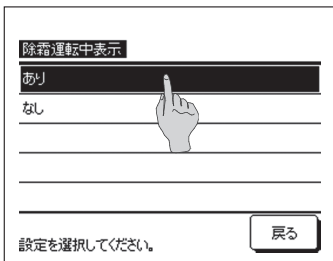
識別名を設定する熱源機（アドレスNo.）ボタンをタッチしてください。

リモコン名称設定（[図2](#)）と同様に文字選択画面を表示しますので、文字を入力してください。



熱源機識別名は全角4文字分（半角8文字分）相当まで入力できます。

入力が完了しましたら、**セット** ボタンをタッチしてください。



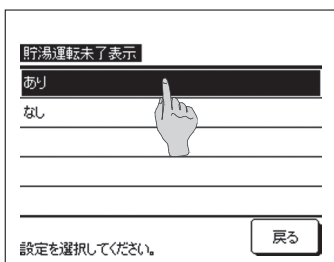
4 除霜運転中表示のあり/なしを設定します。

運転中に、熱源機に霜がつきやすい条件になると自動的に除霜運転制御を行います。

あり…除霜運転制御中は、リモコンに「除霜運転中」を表示します。


なし…「除霜運転中」の表示はされません。


■使用方法・各種設定操作



5 貯湯未了表示のあり/なしを設定します。

設定した貯湯量まで貯湯できていない場合、リモコンに「貯湯未了アイコン」を表示します。

あり…設定値まで貯湯できていない場合、リモコンに「」を表示します。

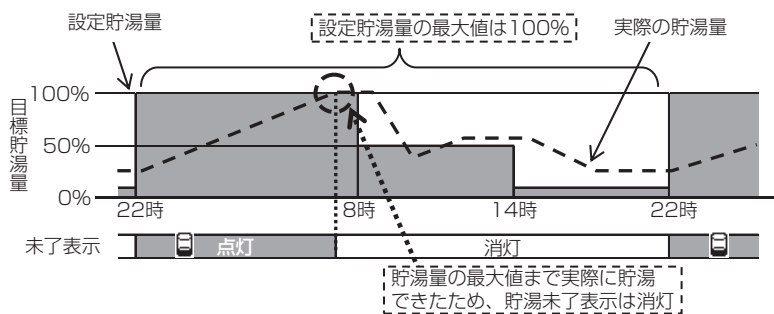
なし…「」を表示しません。

貯湯未了アイコンの表示する条件について

1日の運転パターンにおいて、設定貯湯量の最大値まで貯湯できていない場合、予定通りにお湯を貯めることができていない可能性があるため、「貯湯未了アイコン」を表示します。

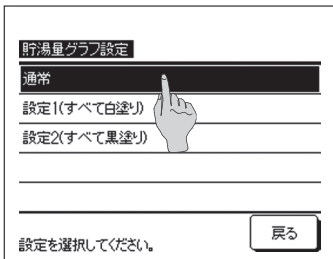
アイコンが常時点灯する場合は、運転パターンとお湯の使用パターンの関係が適当か確認してください。

(例1) 通常時 ※貯湯運転が完了している場合



(例2) 貯湯未了時 ※貯湯運転が完了していない場合





6 貯湯量グラフのデザインを変更します。

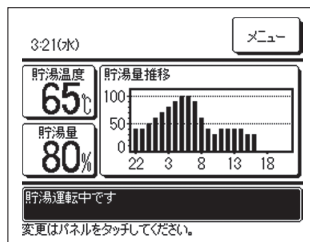
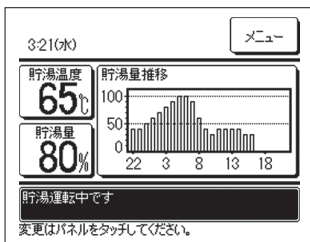
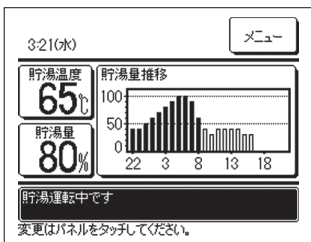
貯湯グラフのデザインは下記3種類から選択できます。

通常……………22時～8時が黒塗り，その他、
白塗り。

設定1(すべて白塗り) …時刻に関係なくすべて白塗り。

設定2(すべて黒塗り) …時刻に関係なくすべて黒塗り。

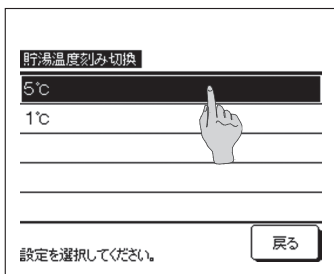
【表示事例】



■使用方法・各種設定操作

■貯湯温度刻み切換のしかた

貯湯温度切換時の温度刻みを変更できます。



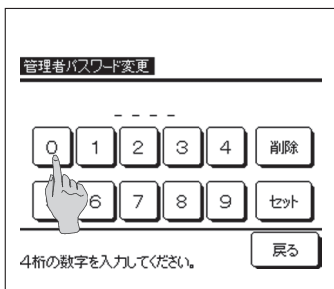
- 1 管理者設定のメニュー画面から、「貯湯温度刻み切換」をタッチすると、貯湯温度刻み切換メニュー画面を表示します。

ご希望の温度刻みをタッチしてください。

- ① 5°C …貯湯温度が5°C刻みで設定できます。
60°C ⇔ 65°C ⇔ … ⇔ 85°C ⇔ 90°C
- ② 1°C …貯湯温度が1°C刻みで設定できます。
60°C ⇔ 61°C ⇔ … ⇔ 89°C ⇔ 90°C

■管理者パスワード変更のしかた

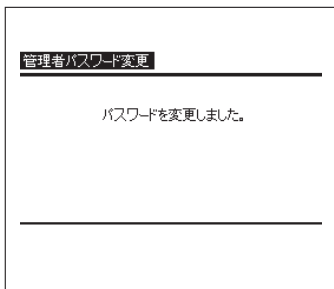
管理者パスワードの変更ができます。



- 1 管理者設定メニュー画面から、「管理者パスワード変更」をタッチすると、管理者パスワード変更画面を表示します。

パスワード（数字4桁）を入力し、「セット」ボタンをタッチしてください。

- 2 パスワード変更確認画面が3秒間表示され、管理者設定メニュー画面に戻ります。



■業種設定のしかた

代表的な業種の運転パターンを選択することにより、詳細な運転パターンを簡単に設定することができます。

1 管理者設定のメニュー画面から、「業種設定」をタッチすると、業種設定メニュー画面を表示します。

下の各業種の時間ごとの目標貯湯量により、設定する運転パターンに近い業種を選択してください。

- ①福祉施設・病院
- ②給食センター
- ③ホテル・旅館
- ④ビジネスホテル
- ⑤スポーツ施設
- ⑥飲食店舗

業種別目標貯湯量

時刻	初期値	福祉施設・病院	給食センター	飲食店舗	ホテル・旅館	ビジネスホテル	スポーツ施設
22時	100%	60%	60%	60%	40%	40%	40%
0時	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
4時	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
8時	30%	80%	80%	80%	80%	40%	100%
10時	30%	50%	60%	80%	70%	40%	80%
13時	30%	30%	40%	60%	60%	100%	60%
16時	30%	30%	20%	40%	50%	100%	40%
19時	30%	30%	20%	30%	40%	40%	30%

2 業種設定メニュー画面で業種をタッチすると、登録確認画面を表示します。

「はい」ボタンを押すと、選択した業種の時刻と貯湯量が運転パターン設定に登録されます。

登録後、運転パターン設定の曜日選択画面（P20の4）が表示されます。

■使用方法・各種設定操作

■運転ランプ点灯設定のしかた

運転ランプが緑色(黄緑色)に点灯するタイミングを変更することができます。

参考 赤色(橙色)の点灯タイミングは変更できません。(異常発生時のみ点灯)

- 1 管理者設定のメニュー画面から「運転ランプ点灯設定」をタッチすると、運転ランプ点灯設定画面を表示します。
ご希望の設定をタッチください。

通常…熱源機の運転中に点灯します。

設定1…**運転/停止**スイッチにて、運転となったときに点灯します。

参考 貯湯運転を行わない待機中や休日中でも点灯します。

■貯湯温度上限設定のしかた

貯湯温度の上限値を変更し、貯湯温度の設定範囲を変更することができます。

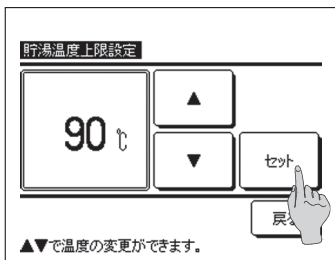
例 上限値を80℃に変更すると貯湯温度は、60～80℃の範囲内にて設定可能となります。

■初期設定は、60～90℃ (→18ページ)

- 1 管理者設定のメニュー画面から「貯湯温度上限設定」をタッチします。

- 2 リモコンに接続されている熱源機が複数台の場合、熱源機の一覧表が表示されますので、設定する熱源機をタッチしてください。

熱源機選択画面には、8台まで表示します。9台以上接続されている場合は、**次ページ** ボタンをタッチすると、9台目以降の熱源機が表示されます。



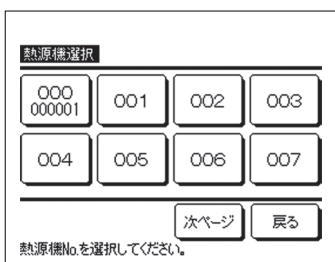
3 ▲ ▼ ボタンで上限温度を合わせた後、**セット** ボタンをタッチしてください。

4 **セット** ボタンを操作後、TOP画面に戻ります。

- 上限値は5℃単位で設定できます。
上限値の設定範囲 …70~90℃(初期設定90℃)
- **セット** ボタンを押さずに **戻る** ボタンを押すと、合
せた設定値は無効とTOP画面に戻ります。

■ 開放タンク情報の確認のしかた

開放タンク温度センサの検知温度を確認することができます。

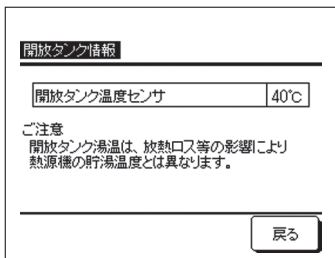


1 管理者設定のメニュー画面から「開放タンク情報」を
タッチします。

2 リモコンに接続されている熱源機が複数台の場合、熱
源機の一覧表が表示されますので、表示させたい開放
タンクとつながっている熱源機をタッチしてください。
熱源機選択画面には、8台まで表示します。9台以上
接続されている場合は、**次ページ** ボタンをタッチす
ると、9台目以降の熱源機が表示されます。

3 熱源機との通信後、開放タンク温度センサの検知温度
が表示されます。

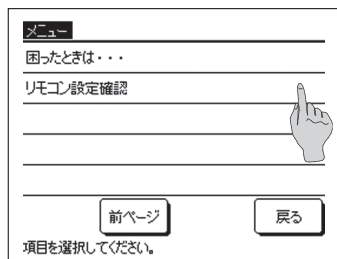
ご注意 開放タンク温度センサの検知温度は、熱源機の出湯温度とは異なります。



■使用方法・各種設定操作

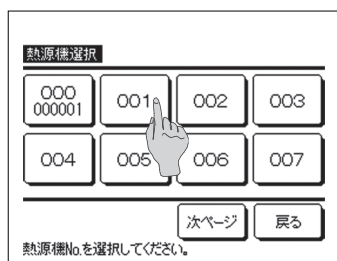
リモコン設定確認のしかた

現在のリモコン、熱源機の設定一覧を確認することができます。



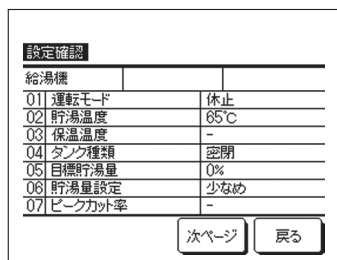
1 メニュー画面で「リモコン設定確認」をタッチします。

■ **メニュー** ボタンをタッチすると、メニュー画面の1ページ目が表示されるので、**次ページ** ボタンをタッチし、2ページ目を表示してください。



2 リモコンに接続されている熱源機が複数台の場合、熱源機の一覧が表示されますので、表示させる熱源機をタッチしてください。

熱源機選択画面には、8台まで表示します。9台以上接続されている場合は、**次ページ** ボタンをタッチすると、9台目以降の熱源機が表示されます。



3 現在の設定内容を表示しますので、設定の最終確認をすることができます。

表示項目

番号	項目	設定範囲
1	運転モード	運転/停止/休止
2	貯湯温度	60~90℃
3	保温温度	40~63℃/ー
4	タンク種類	密閉/開放
5	目標貯湯量	10~100%
6	貯湯量設定	通常/多め/少なめ
7	ピークカット率	0, 40, 60, 80%/ー
8	ピークカットタイマー設定	有効/無効
9	期間休止タイマー設定	有効/無効
10	個別休止タイマー設定	有効/無効
11	除霜中表示	有り/無し
12	貯湯未了表示	有り/無し
13	深夜電力開始時刻	0:00~23:50
14	深夜電力終了時刻	0:00~23:50
15	次回点検日	年月日/ー
16	貯湯温度上限	70~90℃



■ お手入れについて

リモコンのお手入れ

● 液晶・本体の手入れ

液晶表示部および本体が汚れたときには、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがとれないときは水で薄めた中性洗剤を布にしみこませて固く絞り、汚れをふき取ったあと、からぶきしてください。

お願い

シンナー・有機溶剤・強酸系などは使用しないでください。

⚠ 警告

可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。
ベンジン・シンナーで本体をふかない。
ひび割れ、感電、発火の原因になります。



熱源機のお手入れ

● 熱源機の通風の確保

熱源機は大気中の熱を汲み上げて水を加熱するため、多量の空気を吸込む必要があります。
熱源機の吸込口や吹出口をふさぐ、または、周囲に空気の吸込みを妨げる物を置くと、能力低下や故障の原因になることがあります。

● 空気側熱交換器の洗浄

長期間使用すると、空気側熱交換器にほこりなどがつき、適正な運転ができなくなります。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご連絡ください。

● 水回路の洗浄

水回路のストレーナを定期的に洗浄してください。

貯湯ユニットのお手入れ

貯湯ユニットのお手入れについては、貯湯ユニットに付属の説明書をご覧ください。

■ お手入れについて

冬季の凍結防止

本体周囲温度が0℃以下になる場合、水配管が凍結し、水配管・給湯機の破損の原因となる場合があります。

販売店へ相談し、適切な凍結防止対策を必ず行ってください。

また、凍結する恐れがある場合は、運転休止中も電源を入れておいてください。

本給湯機は水が凍結する恐れのある場合、休止中でも凍結防止運転を行います。

長期間停止させる場合

1カ月以上お湯を使用しないときは、主電源をOFFし、熱源機と貯湯ユニットの水を抜いてください。

水抜きの方法は、設置した業者、または販売店にご連絡ください。

お願い

排水する場合は、事前に下記方法で熱源機の電源を落としてください。

①熱源機を停止させる。

メニュー画面で「サービス・メンテナンス」を選択し、サービスマンテナンスメニューより「システム全停止」を選択してください。

※サービスパスワードを要求されます。

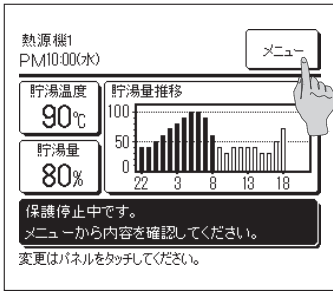
②熱源機、貯湯ユニットの電源ブレーカをOFFにしてください。

⚠注意

熱源機の運転中に電源ブレーカをOFFにした場合、熱源機の故障の原因となることがあります。

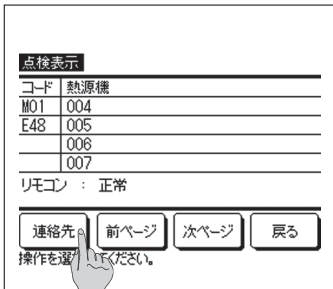
故障かな？と思ったら

給湯機に異常が発生した場合、メッセージ表示部に「保護停止中です。」と表示されます。以下の操作を行い、運転休止しお買い上げの販売店にご連絡ください。



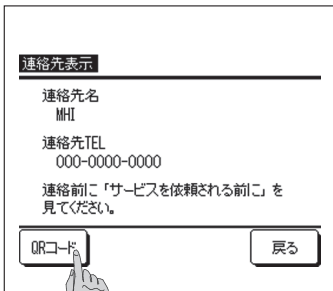
1 メッセージ表示部に「保護停止中です。」と表示されます。

メニュー ボタンをタッチしてください。



2 点検内容を表示します。

点検内容（コード）を確認のうえ、**連絡先** ボタンをタッチしてください。



3 連絡先情報（連絡先名、連絡先の電話番号）を表示します。

あらかじめ手入力されている場合に表示します。

連絡先が不明な場合は、**QRコード** ボタンをタッチすると、携帯電話のインターネットサービスサイトのQRコードとURLを表示します。

本サイトから、点検コードの故障内容と対処方法をご覧ください。

また、修理依頼もできますので、ご利用ください。



QRコード®
二次元バーコードリーダー機能が搭載されている携帯電話でご利用いただけます。

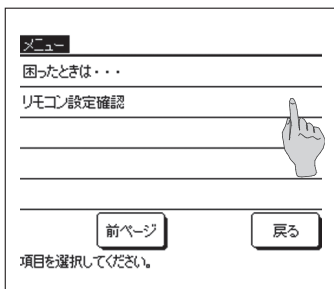
携帯電話をQRコード®読み取りモードに設定し、QRコード®部分を読み込んでいただくと簡単にアクセスすることができます。

QRコード®は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

故障かな？と思ったら

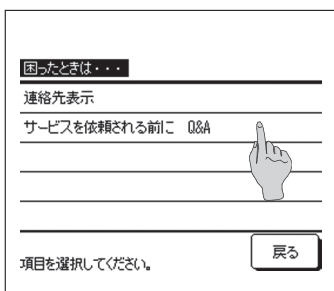
故障かな？と思ったら

メニュー画面から、連絡先の表示およびQ & A（代表的なトラブルシューティング）を見ることができます。



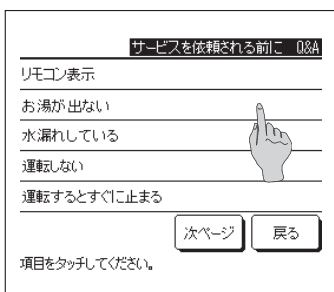
1 メニュー画面で「困ったときは・・・」をタッチしてください。

■「メニュー」ボタンをタッチすると、メニュー画面の1ページ目が表示されるので、「次ページ」ボタンをタッチし、2ページ目を表示してください。



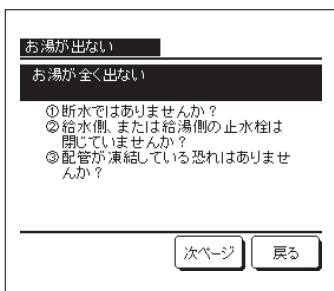
2 「サービスを依頼される前に Q&A」をタッチしてください。

連絡先表示 ……（[P51ページ3](#) を参照してください。）
Q&A ……（[P3](#) へ）



3 症状が表示されますので、現在の状況をタッチしてください。

複数のページがあるので「次ページ」/「前ページ」ボタンでページを切り替え、現在の状況を選択してください。



4 選択した状況に対する、対応方法が表示されます。

項目により複数のページがある場合があります。

「次ページ」/「前ページ」ボタンでページを切り替えてください。

故障かな？と思ったら

異常コード一覧

リモコン点検表示	点検内容
E 1	リモコン・熱源機間通信異常
E10	熱源機接続台数オーバー
E31	熱源機アドレスNo重複
	熱源機アドレス設定不良
E32	電源欠相
E36	吐出管温度異常
E37	熱交センサ断線
	ガスクーラ水温センサ断線
	ガスクーラ温度センサ断線
E38	外温センサ断線
E39	吐出管温度センサ断線
	中間レシーバ入口温度センサ断線
E40	高圧スイッチ動作
E41	パワトラ過熱
E42	カレントカット
E45	インバータ、制御基板間伝送異常
E48	ファンモータ異常
E49	低圧異常
E51	パワトラ過熱
E52	密閉タンク用貯湯水温センサ断線
	開放タンク用水位センサ断線
	開放タンク用貯湯水温センサ断線
E53	吸入管温度センサ断線
	インジェクション入口温度センサ断線
E54	圧力センサ断線
	圧力センサ出力異常
E55	ドーム下温度センサ断線
E56	パワトラ温度センサ断線
E58	圧縮機脱調異常
E59	圧縮機起動異常
E61	熱源機親・子機 通信異常
E64	水ポンプ異常
E89	熱源機制御基板CPU間通信異常

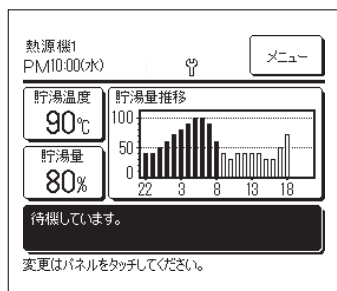
故障かな？と思ったら

点検日のお知らせ

サービス・メンテナンスメニュー（据付工事説明書をご参照ください。）において、次回点検日を設定した場合、運転開始時の5秒間、運転終了時の20秒間に以下の画面を表示します。

また、次回点検日を過ぎるとTOP画面に「🔔」アイコンが表示されます。

次回点検日が近づいた場合、または、「🔔」アイコンが表示された場合は、表示されている連絡先、あるいはお買い上げの販売店にご連絡ください。



次回点検日を過ぎた場合、TOP画面に「🔔」が表示されま
す。

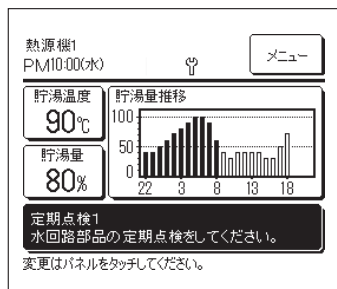
ご使用期間 1年0ヶ月
次回の点検 2020年1月頃
連絡先名 ミヅウ
連絡先TEL 000-000-0000

次回点検日を設定した場合、運転開始時、または終了時に
左の画面を表示します。

「定期点検」「バックアップ」表示が出たときは

「定期点検1」「定期点検2」表示が出たときは

給湯機の定期点検時期をお知らせするため、メッセージ表示部に「定期点検1」あるいは「定期点検2」を表示する場合があります。



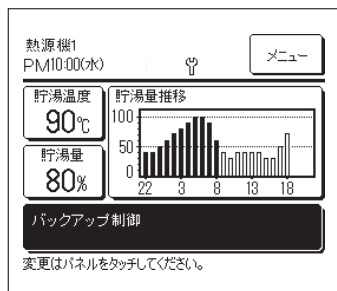
下記定期点検表示が表示されましたら、連絡先表示に記載の連絡先、あるいはお買上げの販売店に定期点検を依頼してください。

- ・定期点検1 水回路部品の定期点検をしてください。
- ・定期点検2 冷媒回路部品の定期点検をしてください。

■定期点検を行わないでそのまま使用されると給湯機の故障につながります。

「バックアップ制御」表示が出たときは

熱源機に異常があり、応急運転している場合、メッセージ表示部に「バックアップ制御」を表示する場合があります。



「バックアップ制御」が表示されましたら、連絡先表示（P51ページ）に記載の連絡先、あるいはお買上げの販売店に定期点検を依頼してください。

■定期点検を行わないでそのまま使用されると故障につながります。

「定期点検」「バックアップ」表示が出たときは・アフターサービスについて

アフターサービスについて

●修理を依頼されるときは

次のことをお知らせください。

- 機種名
- 据付年月日
- 故障状況——できるだけ詳しく
- ご住所、お名前、お電話番号

●移設について

専門の技術が必要ですので必ずお買上げの販売店またはお客様相談センターにご相談ください。
なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

●無料修理保証期間経過後の修理について

販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
(保証期間…据付日から1年)

●ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げ店またはお客様相談センターにご相談ください。

仕 様

項目		形式	ESA301-25 ESA301-25S	ESA301-5 ESA301-5S
電源			200V 3~ 50/60Hz	
中間期標準貯湯加 熱性能 * 1	能力	kW	30.0	
	水量	L/min	8.97	
	消費電力	kW	6.98	
	成績係数	—	4.30	
年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率 * 1,2			3.9	
寒冷地年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率 * 1,2			3.3	—
運転音 (中間期, 冬期) * 3			58	
外形寸法	高さ	mm	1690	
	幅	mm	1350	
	奥行	mm	720+35 (配管接続口長さ)	
電流	最大	A	42	
	始動	A	5	
製品重量	kg	365 (運転時375)		
保有水量	L	10		
塗装色		スタックホワイト (4.2Y7.5/1.1近似)		
圧縮機	形式×個数		全密閉インバータ圧縮機×1台	
	呼称出力	kW	6.4	
冷媒	種類		R744(CO2)	
	封入量	kg	8.5	
冷凍機油	種類		MA68	
	封入量	cc	1200	
クランクケースヒータ	W	20		
凍結防止ヒータ	水配管用	W	21×3	—
	中間ドレンパン用	W	40×2	—
	ドレン配管用	W	16×3	—
	合計	W	191	—
空気側熱交換器			銅パイプ・アルミフィン式	
水側熱交換器			銅管コイル式	
送風機	形式		軸流式(モータ直結)×2	
	出力×個数	W	386×2	
	風量	m ³ /min	260	
水流量制御	方式×出力	W	非自吸渦巻きインバータポンプ×100W	
	接水部材質		青銅, SUS304	
	許容機外揚程	m(kPa)	5m(49kPa) @ 17L/min	
使用温度範囲 * 4	外気温	℃	-25~43	
	入水温度	℃	5~63	
	出湯温度	℃	60~90	
入水圧範囲	kPa	500以下		
除霜			ホットガス方式	
防振・防音装置			圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
			高圧圧力開閉器, 過電流保護	
保護装置			パワトラ過熱保護, 異常高圧保護	
配管寸法	給水入口		Rc3/4(銅 20A)	
	温水出口		Rc3/4(銅 20A)	
	ドレン排水口		Rc3/4(銅 20A)	
配線仕様	漏電遮断器		50A, 100mA, 0.1sec	
	電源の太さ		14mm ² ×3 (こう長33m)	
	開閉器		容量60A, ヒューズ50A	
	アース線		3.5mm ² ~14mm ² (M6)	
	リモコン線		0.3mm ² ×2心	
設計圧力	MPa		高圧部 14.0 低圧部 8.5	
法定冷凍能力	トン		2.98 (届出不要)	
IPコード			IP24	

(注)

- 表示は、日本冷凍空調工業会標準規格 JRA 4060:2014 に基づきます。上記以外の表示については、技術資料をご覧ください。
- 年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率および寒冷地年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率の算出では凍結防止ヒータの消費電力 (191W) を含んでいません。
- 運転音は反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。なお、本体前方 1m、高さ 1m にて測定した値です。
- 実際の出湯温度は外気温、入水温度により目標温度に対し±3℃程度前後します。また、入水温度が30℃以上、かつ外気温25℃以上では自動的に出湯温度を抑制した運転を行う場合があります。
- 上水道水を使用してください。また水質は三菱重工が規定する水質基準に沿ってください。(7ページの基準値を参照) 水質基準を外れるとスケールの付着、腐食等の不具合を生じる恐れがあります。

サービスをお申し付けになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ・形 式 名：
- ・ご 購 入 日：
- ・異 常 の 内 容：できるだけ詳しく。エラーコード、メッセージ等表示されている場合は表示内容についても連絡願います。
- ・ご 住 所：
- ・ご 氏 名：
- ・電 話 番 号：
- ・訪問ご希望日時：

■お客様メモ

ご購入店名： _____

電話番号： _____

担当者： _____

ご購入日： 年 月 日

サービスフロントセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱重工サーマルシステムズ株式会社および三菱重工冷熱株式会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取扱いたします。

1. 当社は、お客様の個人情報を当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたサービスフロントセンターにご連絡ください。

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお、転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は、下記のサービスフロントセンターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承ください。）

サービスフロントセンター（修理受付、部品、技術相談） ☎ 0120-975-365



三菱重工サーマルシステムズ株式会社 〒108-8215 東京都港区港南 2-16-5
三菱重工冷熱株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5